



令和7年(2025年)10月発行 宇部市立原小学校 学校図書館

朝夕の冷え込みを感じるようになり、ようやく季節は秋模様となりました。「読書の秋」という言葉がぴったりの季節になりました。

さて、いよいよ秋の読書週間(10/27~11/9)が始まります。今年の標語は「こころとあたまの、深呼吸」に決まりました。この標語を考えられた作者の言葉をご紹介します。「めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」このような思いで標語を作成されたそうです。読書は頭の栄養や心の栄養だといいます。本を読むことで、子どもたちの頭や心に栄養が満ちてほしいです。



「読書の足あと」を頑張っています。

1 学期の終わりから1年生も「読書の足あと」を書き始めました。中間タイムや昼休みに図書室に来てどんな本を読んだのか、何冊読んだのかなど話をしながら書いています。また、他の学年の子どもたちも休み時間や図書の時間を利用して取り組んでくれています。



1学期よりも「りんごの木」 のりんごが増えています。 これからも、じつくりと本を 読んで、「読書の足あと」を 続けて書いてほしいです。



本を読んだ後、丁寧に本の題名を書いてます。



図書室の展示物がにぎやかになりました。

図書委員が校長先生に好きな本やアニメなどインタビューしました。その結果をまとめて図書室に展示しています。校長先生の好きな本は「100万回いきたねこ」(佐野洋子 作・絵 出版社:講談社)だそうです。他にも関連のある本を置いています。高学年の人に読んでほしい本もあります。ぜひチャレンジしてほしいです。

また、6 年生が、原小学校のみんなにおすすめしたいことを冊子にしてまとめたもを図書室に展示しました。

校長先生のおすすめ本コーナー



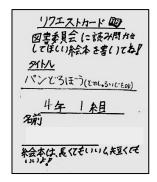


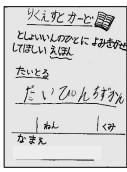
休み時間になると、展示をみに来ています。

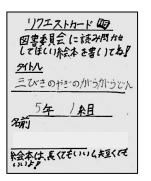


読み聞かせのリクエスト本のアンケートをとりました。毎9点は9分の

図書委員が、原小のみんなが読み聞かせをしてほしい本について、アンケートをとりました。読み聞かせのリクエストカードをつくり、各クラスに配り書いてもらいました。







様々な絵本のリクエストがありました。リクエストが多かった絵本は、図書委員が読み聞かせをする予定です。

アンケート結果は・・・

- 1年生 1番多かった本は、「へんしんとびばこ」や「へんしんトイレ」などの「へんしんシリーズ」でした。 他には、「パンどろぼう」「おならしりとり」や「大ピンチずかん」などがありました。
- 2年生 1番多かった本は、「おトイレさん」です。他には「パンどろぼうシリーズ」などがありました。
- 3年生 1番多かった本は、「おひさん」でした。他には「うろおぼえ一家の休日」や「大ピンチずかん」などがありました。
- 4 年生 1 番多かった本は、「100円たんけん」でした。 他には「スイミー」や「うろおぼえ一家の休日」などがありました。
- 5 年生 1 番多かった本は、「ぐりとぐら」でした。他には、「バムとケロのおかいもの」「てぶくろ」「ごんぎつね」が多かったです。
- 6年生 1位は「ぐりとぐら」でした。他には「おしりたんてい」 「ともだちや」 「スイミー」 「ごんぎつね」が多かったです。

リクエストが多かった絵本は「ぐりとぐら」「ぱんどろぼう」「大ピンチずかん」でした。いずれも子どもたちに人気のある本です。お子さんがどのような本をリクエストしたかご家庭でも聞いてみてください。また、読み聞かせをしたり、親子で一緒に読んでみたりしてみられませんか。



教育後援会や PTA 費から本を購入させていただきました

毎年、教育後援会から、本を寄贈本として本を購入させていただいています。今年は選書会で特に人気があった本を購入させていただきました。PTA 費からは、主に日ごろ子どもたちが読みたいといっていた本を購入させていただきました。また、今年は、原地区人権教育推進委員協議会からも本を寄贈していただきました。子どもたちはたくさん借りてくれています。ありがとうございました。





PTA 費からは約 60 冊の本、教育後援会からは 26 冊の本を購入させていただきました。





原地区人権教育推進員協議会から 寄贈していただいた本。

三びきのやぎのがらがらどん ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン_絵 せた ていじ 訳 発行 福音館書店